様式第十二号（第二十条，第四十二条関係）

―

年　　月　　日

農林水産大臣　　殿

都道府県知事　氏　　名　㊞

家畜伝染病予防法第12条の２（第35条）の規定により，下記の通り報告する。

何　何　発生予防のための（まん延防止のための）　検査実施状況（　　月分）

実施区域	飼養頭数	検査頭数		検査の結果			猶予した頭数	従事した延人員	摘要
		実頭数	延頭数	患畜	疑似	健康			
計									
備考									

注意　備考欄には，検査を猶予した理由，検査の結果とつた処置等を記入すること。

二

年　　月　　日

農林水産大臣　　殿

都道府県知事　氏　　名　㊞

家畜伝染病予防法第12条の２（第35条）の規定により，下記の通り報告する。

腐蛆病　発生予防のための（まん延防止のための）　検査実施状況（　　月分）

実施区域	検査群数	検査の結果			猶予したほう群数	従事した延人員	摘要
		病ほう群	疑似ほう群	健康ほう群			
計							
備考							

注意　備考欄には，検査を猶予した理由，検査の結果とつた処置等を記入すること。

三

年　　月　　日

農林水産大臣　　殿

都道府県知事　氏　　名　㊞

家畜伝染病予防法第12条の２（第35条）の規定により，下記の通り報告する。

何　何　発生予防のための（まん延防止のための）　注射実施状況（　　月分）

実施区域	飼養頭数	注射頭数				注射の反応				猶予した頭数	従事した延人員	生物学的製剤使用量	摘要
		第１回	第２回	第３回	計	死亡	流・死産	重症	軽症				
計													

使用した生物学的製剤	製造所名	製造年月日	ロット番号	その他

備考	

注意　備考欄には，注射を猶予した理由，注射反応のあつた家畜についてはその反応の状態及びそれに対する処置を記入すること。

四

年　　月　　日

農林水産大臣　　殿

都道府県知事　氏　　名　㊞

家畜伝染病予防法第12条の２（第35条）の規定により，下記の通り報告する。

何　何　発生予防のための（まん延防止のための）　薬浴（投薬）実施状況（　　月分）

実施区域	飼養頭数	実施頭数		薬浴（投薬）の反応				猶予した頭数	従事した延人員	薬品使用量	摘要
		実頭数	延頭数	死亡	流・死産	重症	軽症				
計											
備　考											

注意　備考欄には次の事項を記入すること。

1　使用した薬品の製造所名

2　薬浴（投薬）を猶予した理由，薬浴（投薬）反応のあつた家畜についてはその反応の状態及びそれに対する処置

五

年　　月　　日

農林水産大臣　　殿

都道府県知事　氏　　名　㊞

家畜伝染病予防法第12条の２（第35条）の規定により，下記の通り報告する。

何　発生予防のための
何　（まん延防止のための）　消毒方法（清潔方法）（ねずみ／昆虫等）駆除方法　実施状況（　　月分）

区　分	郡市町村名	畜舎数	計画 畜舎数	実施 畜舎数	実施方法	猶予した 畜舎数	摘　要
計							
備　考							

注意　備考欄には，猶予した理由等を記入すること。

六

年　　月　　日

農林水産大臣　　殿

都道府県知事　氏　　名　㊞

家畜伝染病予防法第12条の２（第35条）の規定により，下記のとおり報告する。

腐蛆病汚染物品の焼却（消毒）実施状況（　　月分）

区　分	実施月日	郡市町村名	所有者（管理者）氏名	飼養ほう群数	腐蛆病発生ほう群数	焼却（消毒）物品数量						従事した延人員	摘　要
						巣箱	巣脾	みつ	その他				
						個	個	リットル					
計													
備　考													

注意　備考欄には，焼却（消毒）に要した燃料又は薬品等の名称，数量等について記入すること。